

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.27

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

赤嶺議員

悪政推進の高市政権が発足
赤嶺議員に聞く

―臨時国会が始まり、高市・自維連立政権が発足しました。

赤嶺 公明党が政治とカネの問題で連立から離脱しました。自民党は手当たり次第に野党に手を伸ばし、維新の会と組むことになりました。維新が連立の条件としたのは、議員定数の削減や医療費削減、憲法改悪、大軍拡の前倒しなど。悪政のオンパレードです。これまで経験したことのない悪政推

進の極右政権が誕生したという印象です。

―昨年来の国政選挙で示された民意は、裏金問題や経済無策への怒りでした。

赤嶺 昨年の衆院選でも今年の参院選でも、政治腐敗の根絶や消費税減税を求める声が圧倒的でした。ところが、連立合意でこれらは先送り。代わって言い出したのが定数削減です。「身を切る改革」と言いますが、その先には国民の身を切る医療費削減などが待ち構えています。定数削減とセットで消費税10%への増税が押し付けられたことを忘れてはなりません。

―沖縄の基地強化も懸念されます。

赤嶺 所信表明では、辺野古新基地建設と強い沖縄経済をリンクさせていました。

県民を侮辱する発言を聞くたびに怒りが沸いてきます。しかも、トランプ大統領の言いなりにGDP2%への大軍拡を2年前倒しで達成し、さらに3.5%に引き上げようとしています。沖縄でも全国でも日米共同演習が激化していますが、これをさらに加速させるものです。大軍拡や改憲に反対する国民の共同を強めなければなりません。

―95年の県民総決起大会から30年が経ちました。

赤嶺 日米地位協定の改定や基地の整理縮小など4項目の要求は今も実現していません。それでも政府の言う負担軽減が口先だけだという認識は広がり、オール沖縄という大きな政治潮流も生まれました。来年の名護市長選や県知事選、統一地方選などに勝利し、基地のない平和な沖縄を次の世代に引き継ぐために全力で頑張る決意です。



フランス 人家族が沖縄に遊びに来て、歓迎会を開いた

▼子どもの頃から我が家と交流の人と結婚して里帰り。一行の中には小学3年の女の子もいた。孫と同じ学年だ▼あの子は学校行っていないのかと孫が聞いてきた。フランスには長いバカンスがあつて休みなんだよと話したら、そんな国があるなら僕もフランスに留学したいと言い出した▼バカンスのある国に憧れを抱いているようだ。日本の学校の管理主義・学力競争に疲れているのだろうか▼フランスの学校は宿題がないのか調べてみることにした。

この間の活動

- うりずんの会でゆがふ製糖建て替えに関する要請を受ける。アジア太平洋系米国人労働者連盟(APALA)と共に考えるワークショップに参加(10月2日)
- 改憲問題対策法律家6団体連絡会との懇談(同8日)
- 沖縄県より来年度沖縄振興予算の説明聴取(同9日)
- 学習会「自衛隊の今」に参加(同12日)
- 名護市長選予定候補翁長クミコ 全県下議員団会議に参加(同13日)
- 沖縄県私立保育連盟から来年度保育関係予算に関する要請を受ける(同15日)
- 日本共産党と参院会派「沖縄の風」との党首会談に同席。平和をつくり出す宗教者ネット主催の『「死の商人国家」の現在地～宗教者・市民集会～』で挨拶(同16日)
- 「沖縄の海岸と豊かな自然を守る実行委員会」主催の北部3村で進む海岸の浸食を示す写真展に日本共産党県議らと参加(同17日)
- 桜島火山活動対策協議会協議会から桜島火山対策、全沖縄製糖労働組合からさとうきび生産の支援等に関する要請を受け懇談(同22日)
- 西銘純恵、瀬長美佐雄両県議とともに沖縄産業まつりに参加。糸満市の兼城十字路で街頭演説(同25日)
- とぐち政志・北谷町長選事務所開きに参加(同26日)



「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は10月4日、米軍キャンプ・シュワブゲート前で県民大行動を実施し、主催者発表で470人が参加しました。

稲嶺進共同代表は自民党総裁選がメディアで盛んに報じられる状況にふれ、民意に背いて新基地建設を強行する政治が続く限り、「誰がなつても希望は持てない」と強調。諦めず頑張ろうと呼びかけました。



頑張ろう三唱する参加者

沖縄を再び戦場にさせるな 辺野古ゲート前県民大行動

沖していたAPALAの代表団から連帯のメッセージが寄せられました。

稲嶺進共同代表は自民党

総裁選がメディアで盛んに

報じられる状況にふれ、民意

に背いて新基地建設を強行

する政治が続く限り、「誰が

なつても希望は持てない」と

強調。諦めず頑張ろうと呼び

かけました。

ジユゴン保護キャンペーン

センターの吉川秀樹さんは、

アジア太平洋系米国人労働

者連盟(APALA)が議員に

働きかけて新基地阻止の具

体的活動に取り組んでいる

ことなどを報告。集会には来

県選出野党国会議員でつ

くる「うりずんの会」の5人も

そろって参加し、赤嶺政賢議

員は、米軍と一体の訓練を

行った自衛隊に対する市民

の抗議について中谷元防衛

相が「過度な抗議活動、妨害

行為」と攻撃したことを批判

「沖縄戦で国策の犠牲にした

歴史を忘れ、新たな国策で県

民に大きな負担を押しつけ

ようというもので絶対に許せ

ない。沖縄を再び戦場にさせ

ないため、全力で頑張ろう」と

訴えました。

南城市議選 市長退陣へ議席必ず マツダ兼弘議員が事務所開き

職員に対するセクハラを

巡り、市議会から不信任を

受けた古謝景春南城市長が

議会を解散。11月2日告示、

9日投票で行われる市議

会議員選挙に立候補予定の

マツダ兼弘議員の事務所開

き・総決起集会が26日、同市

で行われました。

マツダ氏は、①古謝市長

の退陣、②市民の暮らしを

守る、③沖縄を二度と戦場

にさせないの3点を公約。

暮らしの問題では、学校給

食の無償化を国に求め、公

共施設の女性トイレを増や

していくと訴えました。

市民の負担軽減と人権、

命どう宝を信条に15年間頑

張ってきたとし、これから

もその立場を貫いて頑張っ

ていきたいと強調しました。

赤嶺政賢議員は「今度の

選挙で古謝市長を不信任に

する議員を多数にするだけ

ではなく、その最前線で市

長に立ちほだかることが出

来るのが日本共産党のマツ

ダ兼弘さん。政治の歪みを

正し、追及の先頭に立つマ

ツダさんを押し上げるたた

かいと一緒に頑張ろう」と

呼びかけました。